

季節の移ろいを感じられる霜月です。日が落ちるのが早くなるこの時期は、家でゆっくり読書を楽しみましょう。

今月の新着図書

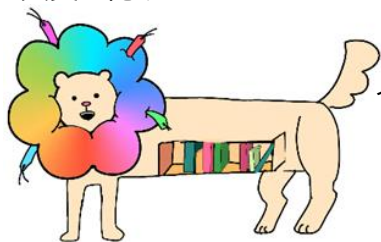


今月は今まで出せなかった小説を大放出です。話題の作家や映画化された小説がたくさん！

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------|
| ① オオルリ流星群 | 伊与原新／著 |
| ② 御子柴くんと遠距離バディ | 若竹七海／著 |
| ③ 深呼吸の必要 | 長田弘／著 |
| ④ マリアビートル | 伊坂幸太郎／著 |
| ⑤ 猫で窒息したい人に贈る 25 のショートミステリー | 『このミステリーがすごい！』
編集部／編 |
| ⑥ 私の名前はオクトーバー | カチャ・バーレン／著 |
| ⑦ 星の教室 | 高田郁／著 |
| ⑧ 江戸を照らせ 蔦屋重三郎の挑戦 | 小前亮／著 |
| ⑨ 事件現場のソクラテス | 尼野ゆたか／著 |
| ⑩ バイアス大図鑑 | 池田まさみ 他／監修 |
| ⑪ 四季の情景イラストレーション | 久保田賢二／編 |
| ⑫ すべての季節に君がいて | 神田 滯／著 |
| ⑬ 池上彰の未来予測 After 2040 | 池上彰／著 |
| ⑭ ワイルドクエスト ネイティブアメリカンのフルサバイバル術 | 川口卓／著 |
| ⑮ なんで人は青を作ったの？ 青色の歴史をたどる旅 | 谷口陽子、高橋香里／著 |
| ⑯ アラスカの詩 めぐる季節の物語 | 星野道夫／著 |
| ⑰ カフカ俳句 | 頭木弘樹／編訳 |
| ⑱ 南北アメリカのあやとり、アジア・アフリカ・ヨーロッパのあやとり | 野口とも／著 |
| ⑲ Garden 8月9日の父をさがして | 森越智子／著 |
| ⑳ 岸部露伴は動かない 懺悔室 | 北國ばらっと／著 |
| ㉑ 嘘つきは誰だ？ LIAR 鐘の鳴る夜は真実を隠す | 田中佳祐／著 |

ほん
本でしの

今月のおすすめ



イラスト：3年生 K

- ⑰『カフカ俳句』
頭木弘樹／著

ネガティブ思考な割に周りをポジティブにしようとする言葉を発するカフカ。自分の状況や心情を劇的に表現するカフカの言葉の力を感じてください。

- ⑲『Garden 8月9日の父をさがして』
森越智子／著

被爆者であることを語らなかった父。その理由を探しに長崎に行く主人公。被爆者の抱えた苦しみを知る物語です。

- ㉑『嘘つきは誰だ？ LIAR
鐘の鳴る夜は真実を隠す』
田中佳祐／著

読者自身が嘘つきの犯人を見つけ出すミステリーゲーム小説です。それぞれのキャラクターの視点から描かれた8つのエピソードを読み、犯人を見つけ出そう！

図書室開館しました！！

改装が終わり、元の図書室に戻りました。

鶴牧中学校図書館は世界基準です！

世界の図書館の機能は、伝統的な資料の保存・継承というものから、現代的な知識・情報の伝達・交流の促進という両方の側面を持っています。鶴牧中学校図書館は、世界基準の図書館を目指し、資料を収集・提供するだけでなく、教育・研究の場となる機能、コミュニティや交流の拠点となる図書館を目指しています。

世界一の公共図書館と言われているフィンランドのヘルシンキ中央図書館のように、「リビングのような図書館」をみんなで作っていきましょう！

空間を分けた新図書室

入口から入ってカウンター側を ZEN スペース、閲覧席側をリビングスペースとします。ZEN スペースは静かに読書を楽しむ空間です。

その他の場所でも、人の迷惑にならないよう心がけてください。



図書室リニューアル企画！！

クイズ この本は何でしょう？

書き出しを読んで、本の題名を当てよう！
すべて解答できた人には、Special ポストカードをプレゼント。一人でも、グループでも参加できるので、ぜひ挑戦してください！



世界の図書館を見てみよう！

情報を扱う図書館は最先端でなければなりません。最先端の図書館とはどういうものか、世界の図書館を見てみましょう。



フィンランド

ヘルシンキ中央図書館

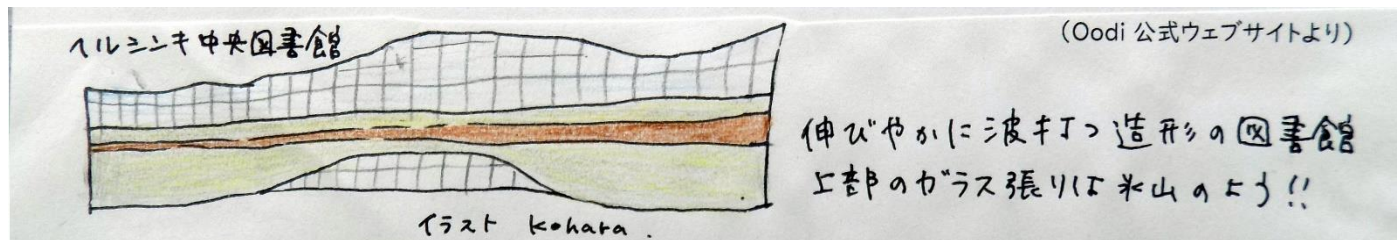
Oodi (頌歌しょうか) という愛称で親しまれているヘルシンキ中央図書館は、蔵書数 10 万冊。本が並ぶ「本の天国」の他、カフェや映画館やイベントスペースもあり、3D プリンターなどの貸出資源も充実しています。

2018 年 12 月にオープンし、(中略)「2019 年公共図書館アワード(2019 Public Library of the Year Award)」を受賞したヘルシンキ中央図書館「Oodi(オーディ)」。フィンランド独立 100 周年を祝う国家プロジェクトのひとつとして、また国民への贈り物として、国会議事堂と対面する場所に建設された図書館です。

(引用: PEN HP <https://www.pen-online.jp/article/001147.html>)

フィンランドでは、公共図書館のサービス利用は、法で定められたすべての国民の権利として守られています。図書館は誰もが平等に文化資本に触れることができる場として機能しています。

「本を借りたり、雑誌を読んだり、昼食を楽しんだり、仕事したり、ふらっと立ち寄ったり、映画を観たり、勉強したり、ミーティングの場として利用したり、イベントをしたり、ワインを飲んだり、EUについて学んだり、音楽を演奏したり、友達と会ったり、カーテンを縫ったり、子どもと遊んだり、ゲームをしたり。Oodi はこのすべて、そしてそれ以上のことができる図書館です」



(Oodi 公式ウェブサイトより)